

あとがき

急激な円安が世を騒がせている。直近の1ドル144円90銭台は約24年ぶりの水準とのことで、コロナ禍やウクライナ情勢も相まってわれわれ国民の生活を直撃している。ただもっと長いスパンで円相場をみると、年平均レートで1980年代前半は220～250円だったものが、1986年に168.5円と急激に円高となり、1987年には144.6円と今のレートに近い水準に至っているのだが、今とは真逆に「200円を割り込む円高なんて日本経済は大丈夫か?」と言っていた。ちょうど「格安航空券」(今のLCCとは全くの別物で、それまでバカ高い正規普通運賃とジャルパックなどの団体パッケージツアー運賃しかなかったところに、HISなどの新興旅行代理店が登場し、個人向けにツアー運賃の航空券を発券しはじめたもの)を入手した大学生たちが『地球の歩き方』を片手に、海外旅行へ行くようになった頃である。円高により円の現地での使い勝手が増し、一方日本国内では種々の規制により輸入品の価格が高止まりしていて、日本は何でも高いという「内外価格差」を強く意識させられた。現在輸入牛肉の高騰が「ミートショック」と呼ばれているが、そもそも当時は牛肉など気軽には食べられなかった。当時海外旅行から帰る際には誰もが3本の免税棒一杯に洋酒を買い込み、重い手提げ袋をヒイヒイ言いながら持って帰ったものである。東南アジアの旅行で屋台飯が日本円数十円相当で腹一杯食べられて感動したことも懐かしい。レートは同様でもこのあたりは今では逆に、日本を訪れる外国人観光客が日本の外食は信じられないほど安くて美味くてサービスがよいと感動している。当時は規制の既得権益で甘い汁を吸っている輩がおり、規制緩和で内外価格差が解消されればすべてよしとされていたが、そう単純にはいかなかったのである。今の円安も10～20年後までの長いスパンではどのような位置付けになっているかわからない。いちいち右往左往せず、地に足を付けてできることをやっていくしかないだろう。(玉木 毅)

【編集委員】

石河 晃
大山 学
阿部理一郎
玉木 毅
朝比奈昭彦
本田 哲也

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日(演題募集がある場合は締切日)の3か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科 (第76巻 第11号)

2022年10月1日発行(毎月1回1日発行)

定価: 3,080円(本体2,800円+税10%)

(2022年間購読料(増刊号を含む13冊、税込、送料弊社負担)
冊子版 42,372円
冊子+電子版/個人 47,872円
電子版/個人 42,372円)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室(03)3817-5715(担当:小松原・今田)

販売・PR部(03)3817-5650

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: rinshifu@igaku-shoin.co.jp

印刷所 三美印刷(株)

広告取扱 (株)文京メディカル 電話(03)3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話(03)3817-5696

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2022, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <https://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」URL <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/412>
- 「臨床皮膚科」は株式会社医学書院の登録商標です。